

NPO 京都コミュニティ放送
第 103 回 番組審議会 議事録

開催日時：2016年7月26日（火）10：00～11：30
会場：京都市中京区三条烏丸 烏丸ビル 2F Flag 三条
委員総数：7人 出席：5人 欠席：2人
出席委員：山本時子 中村正 岡本卓也 松浦さと子 竹下清
欠席委員：ジェフ・バーグラント 福井秀彦
局側委員：町田寿二 松岡千鶴 （順不同敬称略）

ゲスト： 隅井美沙子さん 未来を考える市民の会代表
「だから私は選挙に行きます！」 番組オーナー
(6月20日～7月1日 月～金曜日午前9時～全10回放送6分番組)

■ 審議番組

「だから私は選挙に行きます！」 番組オーナー 隅井美沙子さん
(6月20日～7月1日 月～金曜日午前9時～全10回放送6分番組)
7月の参議院選挙を前に、若い世代の政治参加意識を大いに盛り上げようと、企画した番組。
聞き手はジャーナリスト隅井孝雄さん。ゲストは18歳以上の若者です。

2016年6月21日、6月27日放送の番組を聞いて審議に入った。

■ 番組審議

冒頭

番組オーナー隅井美沙子さんから番組趣旨の説明があった。
以前、東京のラジオ局で仕事をしていたので、今、何が必要かを考える習慣がある。
京都新聞の「若者よ政治を語ろう」という記事に触発され、18歳選挙権に関心を持った。
日本は日常生活の中では政治を語らない不思議な国。アメリカでは授業で当たり前
に政治を語る。今回の番組で若者の声を聞いてみたいと考えた。

審議委員の意見

- ・実際に若者の声を聞いて、希望を持つことが出来た。(隅井)
- ・考え行動している学生と他の学生の間には温度差があると感じた。
- ・2回番組を聞いた。結果として国民が安定政権を選んだ事は少し残念な気がする。
- ・「投票に行きません」という声も聞きたかった。
- ・厳しい現状に置かれている学生の声聞く機会を作ってくださって嬉しい。これは、誰もが番組を作ることが出来るラジオカフェのシステムのお陰。只、放送時間の朝9時は学生がラジオを聞く事が難しい時間帯だと思う。
- ・今回ゲスト出演した学生のその後が知りたい。

- ・投票が意味のある事だと教える家庭環境が必要なのではないか。
- ・アメリカでは例えばニューヨーク市長選挙の時に授業で先生自身が応援する候補について話す。子どもはそのことについて親と話す。言わば政治が身についた社会。大人が成熟しないまま、学生に何かを要求するのは無理な話だと思う。(隅井)
- ・全く賛成。日常的に YES or NO の政策論争を行うことが必要。この番組に続く次のアクションが大切だと思う。
- ・ゲストももっと多様性があると面白い。
- ・「選挙に行った？」という番組を続けて放送すると、持続性があって良い。
- ・自分自身は学生時代、投票に行くのが面倒だった。ネット投票を実施してはどうか。
- ・はやりの「ポケモン GO」を活用すると良い。
- ・異なる世代間での意見交換や交流が必要。
- ・前を向いて歩くのがメディアの役割。「選挙に行きません」という番組を作る気持ちはない(隅井)
- ・放送の中立性が問題になることが多いが、一個一個の番組ではなく全体として中立性保たれていればよいのではないかと個人的には思う。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は 2016 年 8 月 1 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2016 年 8 月 1 日からホームページで公開した。